

2015年6月  
No.15-097a(本)

## 受託僅少項目の自社検査中止による 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目の受託件数が僅少であることから、自社検査を中止することとしましたので、取り急ぎご案内いたします。

ICG、RAPA につきましては再委託での受託継続に伴う検査内容変更を、尿中 HCG 半定量につきましては代替項目をご案内させていただきます。

また、RAPA の代替項目である抗 CCP 抗体につきまして、自社検査を開始いたしますので、併せてご案内いたします。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### ■検査内容変更

- [4500] ICG
- [3710] RAPA(RAHA)(リウマチ因子)
- [5900] 抗 CCP 抗体(抗シトルリン化ペプチド抗体)

#### ■変更期日

- 2015年7月21日(火)受付分より

#### ■検査中止項目

- [2288] 尿中 HCG 半定量  
代替項目:[2250] ヒト総毛性ゴナドトロピン(HCG)<尿>

#### ■最終受付日

- 2015年7月18日(土)

※ご案内の詳細は裏面をご参照下さい。

## ■検査内容変更

頁	項目コード	検査項目名	変更内容	新	旧
16	4500	IOG	検体量	血液 各 3 mL ↓遠心 血清 各 1 mL <sup>*1</sup>	血液 各 6 mL ↓遠心 血清 各 2 mL
			所要日数	3~5 日	1~2 日
			検査場所	LSIメディエンス(→1)	自社
80	3710	RAPA (RAHA) (リウマチ因子)	検査項目名	リウマチ因子(RAPA) (リウマチ因子)	RAPA(RAHA) (リウマチ因子)
			検体量	血清 0.3 mL	血清 0.5 mL
			検査方法 <sup>*2</sup>	PA 法	受身凝集反応
			基準値	陰性(40 倍未満)	40 倍未満
			所要日数	3~6 日	2~3 日
			検体の安定性	(なし)	4 週
			検査場所	エスアールエル(→5)	自社
80	5900	抗 CCP 抗体 (抗シトルリン化 ペプチド抗体)	検査方法 <sup>*3</sup>	CLIA 法	CLEIA 法
			追加可能日数	7 日間	15 日間
			報告下限値	0.5	0.6
			報告上限値	1999.9	9999
			所要日数	1~2 日	3~6 日
			検査場所	自社	エスアールエル(→5)

※1:総合検査案内 22 頁掲載「ICG の検体採取方法」の採血量も変更となります。3 頁をご参照下さい。

※2:検査方法の表記が変更されますが、測定試薬に変更はございません。

※3:抗 CCP 抗体における新旧二法の相関は、4 頁をご参照下さい。

## ■変更期日

●2015年7月21日(火)受付分より

## ■検査中止項目

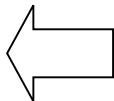
頁	項目コード	検査項目名	備考
-	2288	尿中 HCG 半定量	受託僅少による自社検査中止 代替項目:[2250]ヒト绒毛性ゴナドトロピン(HCG)<尿>

## ■最終受付日

●2015 年 7 月 18 日(土)

## ■ICGの検体採取方法

変更後	変更前
<p>1) 対照として早朝空腹時に採血して下さい。</p> <p>2) 次に、溶血を避けて血清分離して下さい(<math>B_0</math>: 対照血清)。</p> <p>3) ICG試験薬25mgを無菌蒸留水5mLに溶解し、体重10kgにつき1mLの割合で正確に静脈注射して下さい。</p> <p>4) 注射後15分に注射時と反対側から<u>3mL</u>採血し、溶血を避けて血清分離して下さい(<math>B_1</math>)。</p> <p>5) 以上のようにして得た血清(<math>B_0</math>、<math>B_1</math>)を4~6°Cにて暗所に保存し、所定量を提出して下さい。</p>	<p>1) 対照として早朝空腹時に採血して下さい。</p> <p>2) 次に、溶血を避けて血清分離して下さい(<math>B_0</math>: 対照血清)。</p> <p>3) ICG試験薬25mgを無菌蒸留水5mLに溶解し、体重10kgにつき1mLの割合で正確に静脈注射して下さい。</p> <p>4) 注射後15分に注射時と反対側から6mL採血し、溶血を避けて血清分離して下さい(<math>B_1</math>)。</p> <p>5) 以上のようにして得た血清(<math>B_0</math>、<math>B_1</math>)を4~6°Cにて暗所に保存し、所定量を提出して下さい。</p>



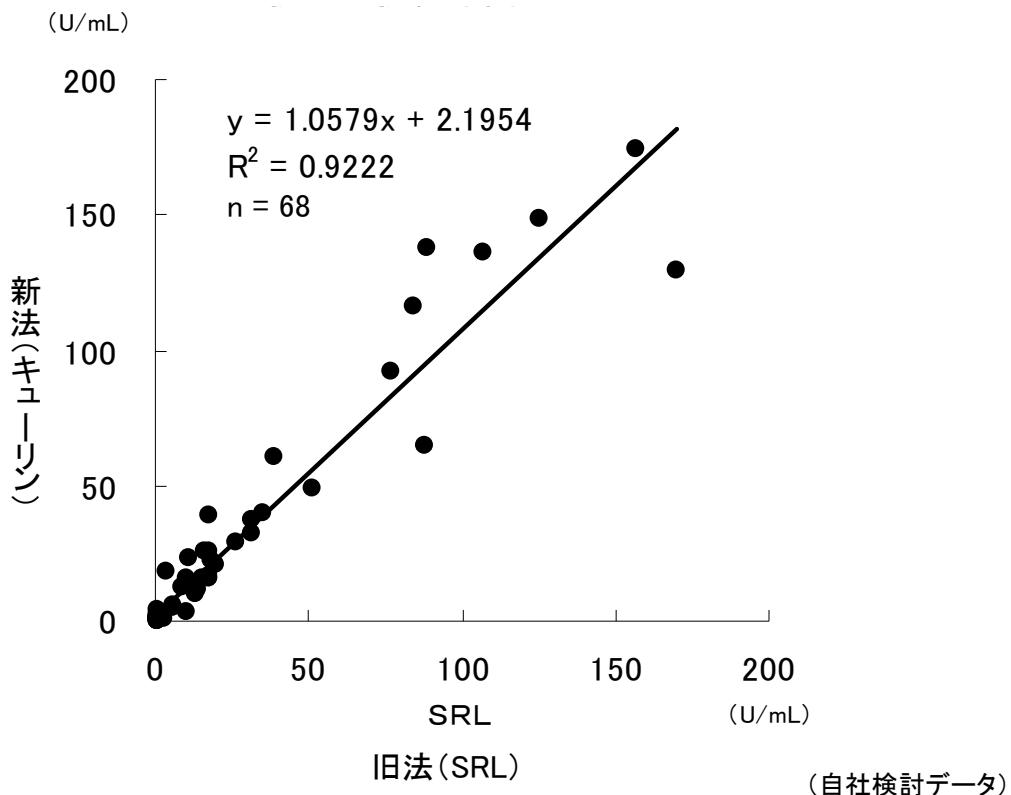
### 一般的留意事項

- 1) 検査は早朝空腹時(不可能な場合は、これに近い状態)に実施し、注射後の採血終了まで被検者を安静仰臥させて下さい。
- 2) 被検者に肥満、浮腫、腹水を認める場合のICG注射量は、標準体重から計算して下さい。

下線部が変更箇所です。

# 抗 CCP 抗体

## ■新旧二法の相関



## ■判定一致率

－:陰性、+ :低力値(4.5~13.5)、++ :高力値(13.6 以上) n=68

		旧法 SRL			
新法 キューリン		－	+	++	計
	－	23	1	0	24
	+	0	5	1	6
	++	1	1	36	38
	計	24	7	37	68

	一致率			
	－	+	++	計
キューリン	95.8%	71.4%	95.8%	94.1%

旧法(SRL)を対照とした場合の、偽陰性率 4.3%、偽陽性率 2.3%